

和歌山縣管内地誌

五  
牝  
堂  
編  
輯  
所  
編  
述

全

特31

288

025719-000-9

特31-288

和歌山県管内地誌

五牝堂編輯所／編

M28

ADC-3253





五將堂編輯所編述

# 和歌山縣管内地誌

全

和歌山 平井書屋藏梓

特31  
288

## 和歌山縣管内地誌

凡例

一 本書ハ專紀伊國ノ地誌ニ關スル諸書ヲ  
 資トシ記述シタルモノニシテ全縣地形  
 ノ大要ヲ卷首ニ記シ卷末ニ一節ヲ附シ  
 テ總括トナス是レ前後相應シテ記臆シ  
 易カラシメンガ爲ナリ

一 卷中全縣ノ地圖及和歌山市街ノ畧圖並  
 二里程表ヲ挿ム是レ本文ト對照シテ了  
 解シ易カラシメント欲スレバナリ



五將堂編輯所編述

# 和歌山縣管内地誌

全

和歌山 平井書屋藏梓

特31  
288

## 和歌山縣管内地誌

凡例

一 本書ハ專紀伊國ノ地誌ニ關スル諸書ヲ  
 資トシ記述シタルモノニシテ全縣地形  
 ノ大要ヲ卷首ニ記シ卷末ニ一節ヲ附シ  
 テ總括トナス是レ前後相應シテ記臆シ  
 易カラシメンガ爲ナリ

一 卷中全縣ノ地圖及和歌山市街ノ畧圖並  
 二里程表ヲ挿ム是レ本文ト對照シテ了  
 解シ易カラシメント欲スレバナリ



一本書ノ目的ハ小學兒童ヲシテ本縣地理ノ概要ヲ知ラシメント欲スル故ニ其行文ハ無用ノ文飾ヲ省キカメテ平易ヲ旨トセリ

明治廿八年一月 日

編者 識

### 和歌山縣管内地誌

五井堂編輯所編述



#### 總說

和歌山縣ハ南海道ノ東端に位し紀伊國ノ大部分を管轄す其境界北ハ和泉河内に接東北ハ大和に連り又北牟婁南牟婁の二郡を介して伊勢に隣り東南ハ大洋に向ひ西ハ内海を隔て、淡路島及阿波土佐の二國



廣袤

と遠く相對す其の廣袤ハ東西凡二十三里南北凡二十四里なり

地理區分

縣内を一市八郡に區劃す即ち和歌山市海部郡名草郡那賀郡伊都郡有田郡日高郡西牟婁郡東牟婁郡是なり南牟婁北牟婁の二郡ハ紀伊に屬すと雖ども今ハ三重縣の管轄たり

和歌山市

和歌山市

位置

和歌山市ハ名草海部の二郡にぬまり縣内第一の都邑にして人家頗稠密なり其幅負ハ

幅負  
戸數

東西凡二十町南北凡二十八町市街の數四百餘町にして戸數一萬八千人口五萬五千に餘れり

區分

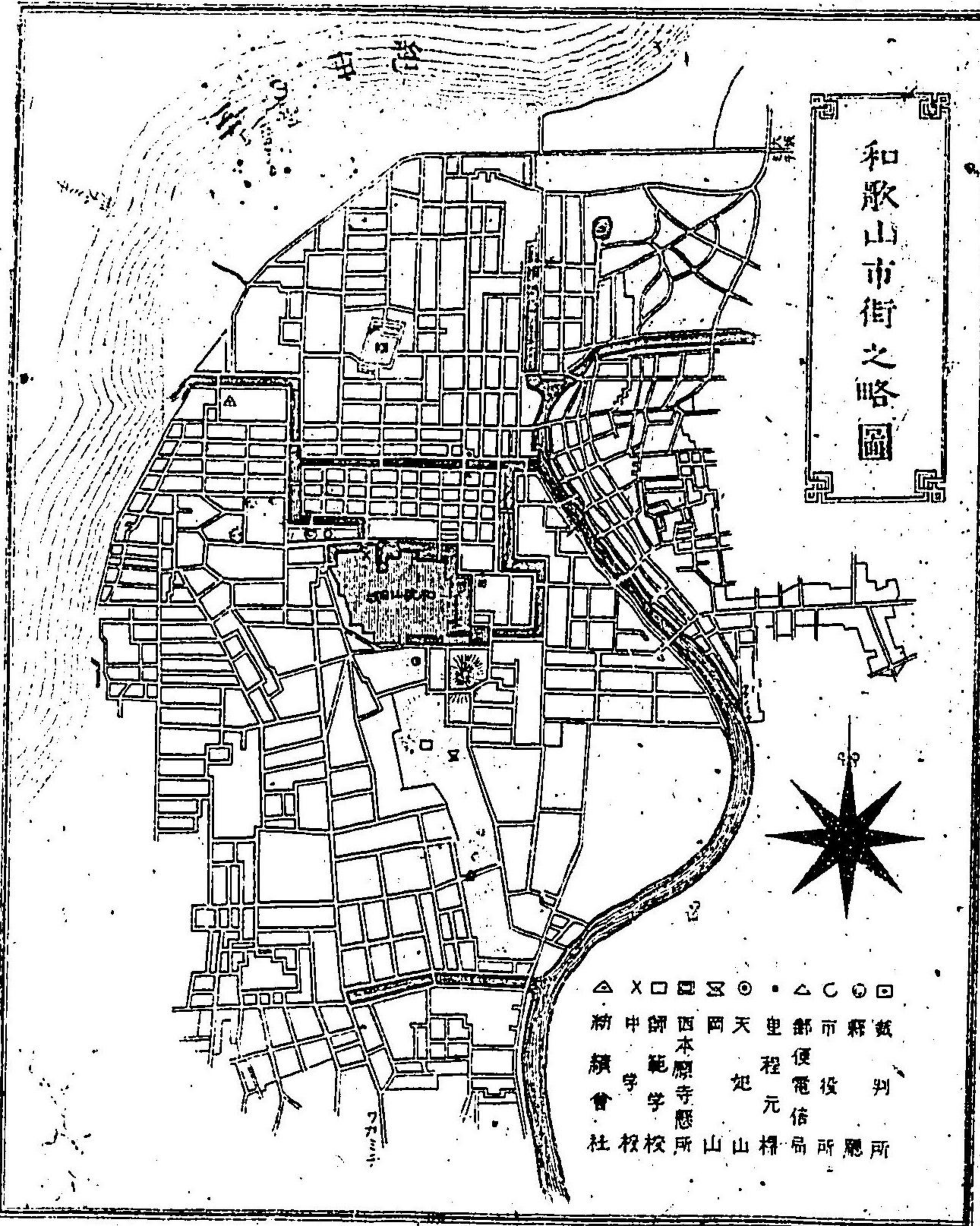
市街を大別して番町廣瀨新町内町宇治湊吹上の七區とす是れ即ち普通の名稱なり

官衙

縣廳及市役所ハ西汀町にあり地方裁判所區裁判所縣立病院郵便電信局警察署國立

學校

銀行高等小學校等ハ孰れも番町に在り又尋常師範學校ハ岡山に尋常中學校ハ舊城内に在り



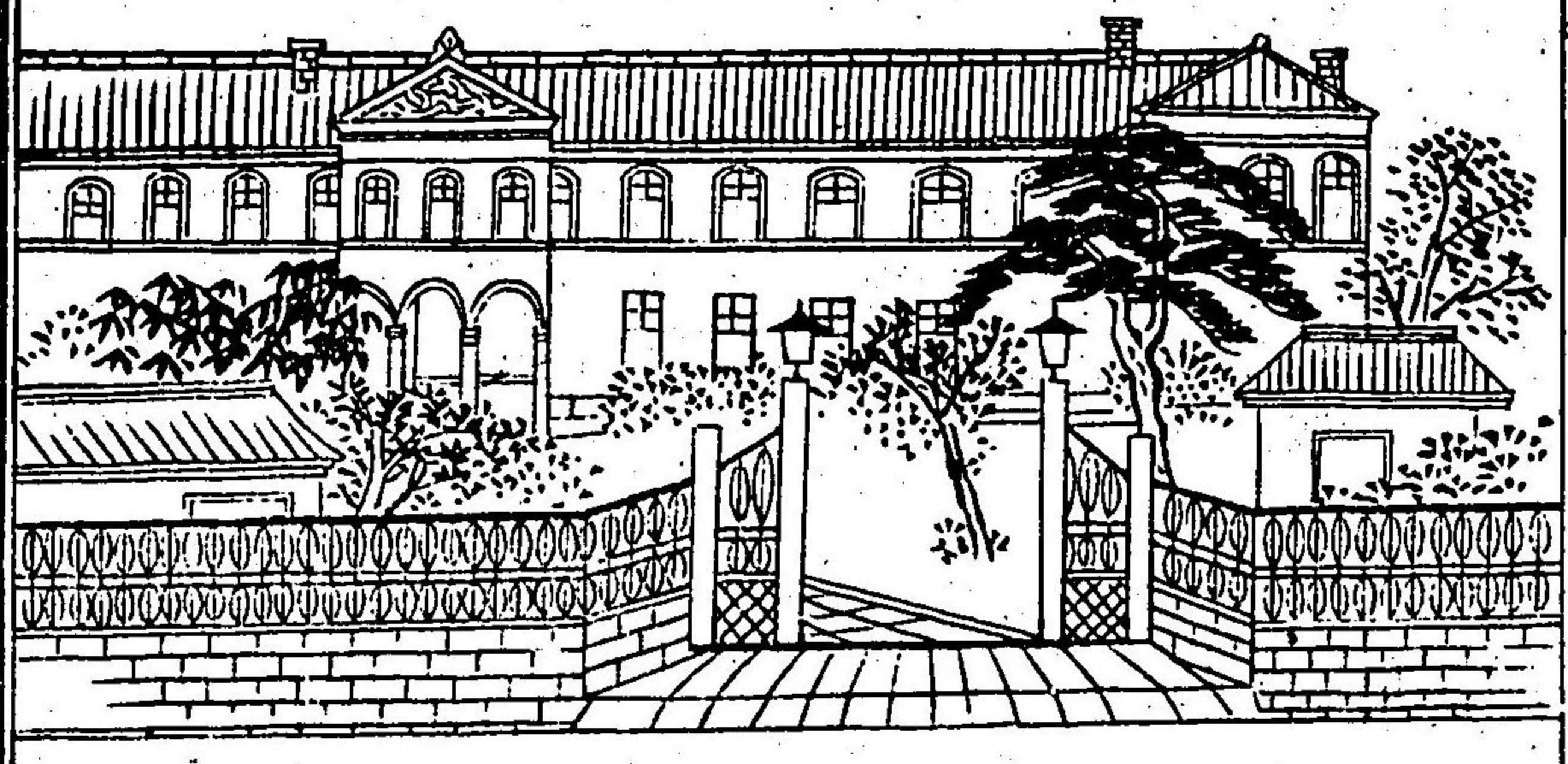
和歌山市街之略圖



和歌城

和歌山城ハ虎<sup>トラ</sup>臥<sup>ノミ</sup>山上<sup>サン</sup>に在りて城濠其東北を繞り天主閣の白壁翠松の間に聳へ市内第一の壯觀たり此城ハ天正年間凡三百年前羽柴秀長の部將桑山重晴之を築造し其後舊藩祖徳川頼宣更に修繕を加へたる所

和歌山縣廳の圖

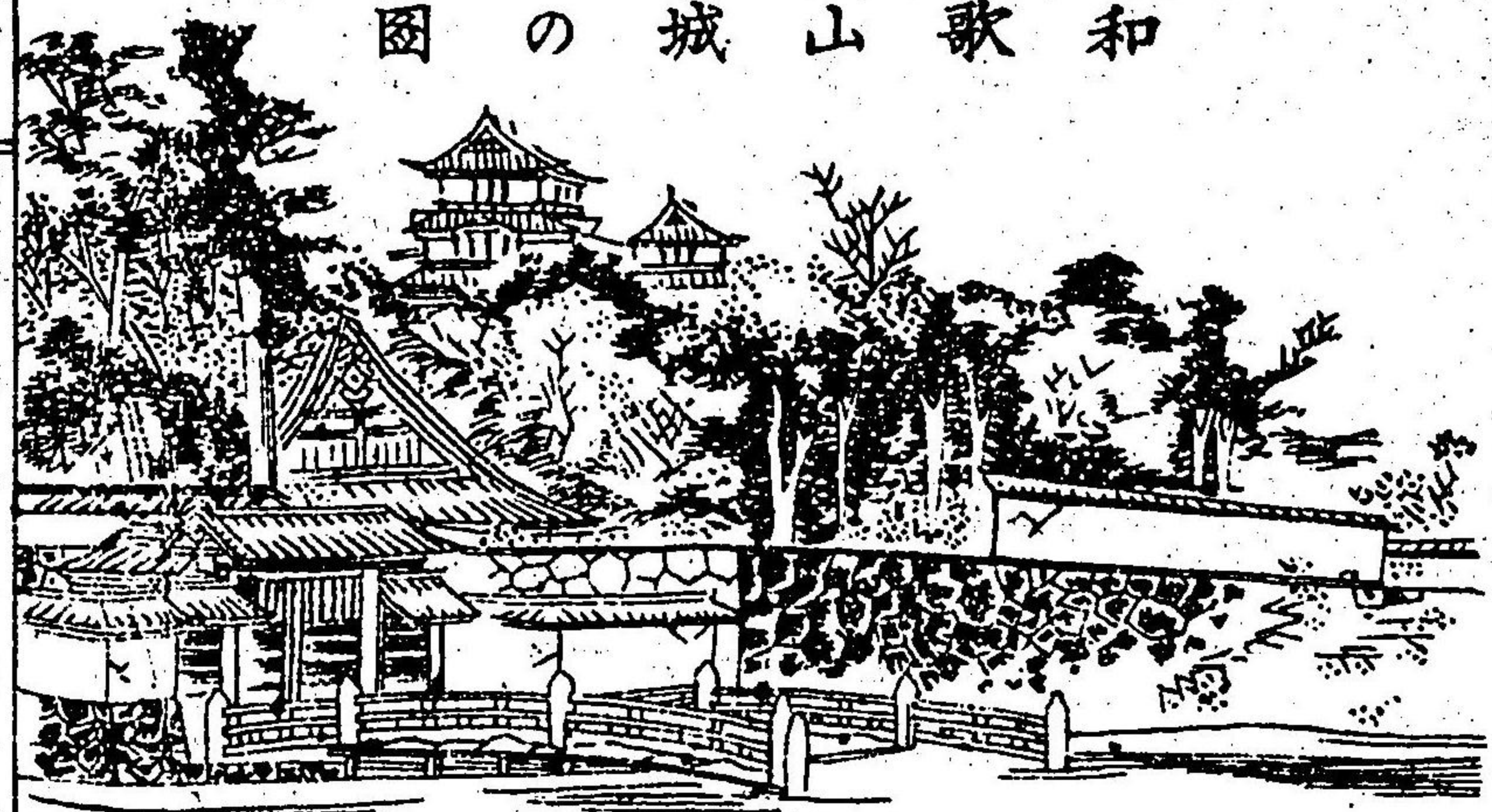


紀念碑

松生院

にして今ハ陸軍省の所轄に属す然れども今より二十餘年前其外圍を取拂ひたるを以て昔日の觀に非ず城南に高丘あり天妃<sup>テンノハ</sup>山と云ふ其頂に紀念碑屹立し戦死の忠魂を祭る其西麓に有名<sup>有名</sup>の古刹あり松生院<sup>松生院</sup>と

和歌山城の圖





栗願寺懸所

云ふ

内町の西部に西本願寺の懸所あり鷲の森御坊と稱す堂宇壯宏にして亦市内の一壯觀たり天正年間真宗の僧徒織田信長に抗戦せし所なり

河流

市内に紀の川を引き溝渠を通し以て水運を便にす故に橋梁の數隨て多し其の城北に架するものを京橋と云ひ里程元標の在る所にして縣内の道程ハ皆此所より起算す其の北を本町と云ふ市内第一の關衢

京橋

なり

市場 公許の市場ハ萬町及西田中に在り毎朝頗雜鬧を極む

生業

市民の生業ハ商工を事とし各郡日用の物品ハ其の供給を此の地に仰がざるハなし物産の最も主要なるものハ綿フラスルにして之を紀州ネルと稱し大に世上に好評を得たり其他雲齋紋羽鬢附油等とす近頃紡績會社より製出する総糸も亦甚盛なり

物産



名草郡

名草郡

境界

名草郡ハ北ハ葛城山<sup>カキヤシ</sup>を以て和泉に界し東ハ那賀郡に接し南ハ有田海部の二郡に連り西ハ海部郡及海濱に沿ひて和歌山市を拖く地勢平坦にして土地膏腴なり

地勢

紀の川ハ郡の北部を貫流し灌溉運輸の便多く雑賀川<sup>サカガ</sup>ハ紀の川の岐流にして和歌山市の堀河に通じ名草山の西麓を南流して海に入る

河流

橋梁

紀の川に架する橋の最大なるものを北島

山岳

橋と云ひ長さ三町餘淡路街道の衝に當る其次を田井<sup>タヰ</sup>の瀬橋と云ひ大坂街道の由て通する所たり

雄<sup>ヲ</sup>の山峠ハ葛城山脈に在りて和歌山市より大坂に到る官道なり此山脈中最高<sup>トシ</sup>の峯を雨<sup>アメ</sup>が森<sup>モリ</sup>と稱し近海渡航の目標たり藤白<sup>フジシロ</sup>峠ハ郡の南境に在りて坂路頗峻し之を熊野の舊道とす

鳴瀧

鳴瀧<sup>ナリタキ</sup>ハ蘭部<sup>ランベ</sup>に在る勝地にして楓樹林をなし秋晴紅葉の時ハ遊客甚多し



紀三井寺

紀三井寺ハ名草山の西麓に在る古刹にして和歌の浦と相對し風景佳絶なり西國三十三番第二の札所に當り其名世に知らる六十谷の大同寺も亦古刹の一にして鳴瀧の東に在り日前國懸の兩神宮ハ

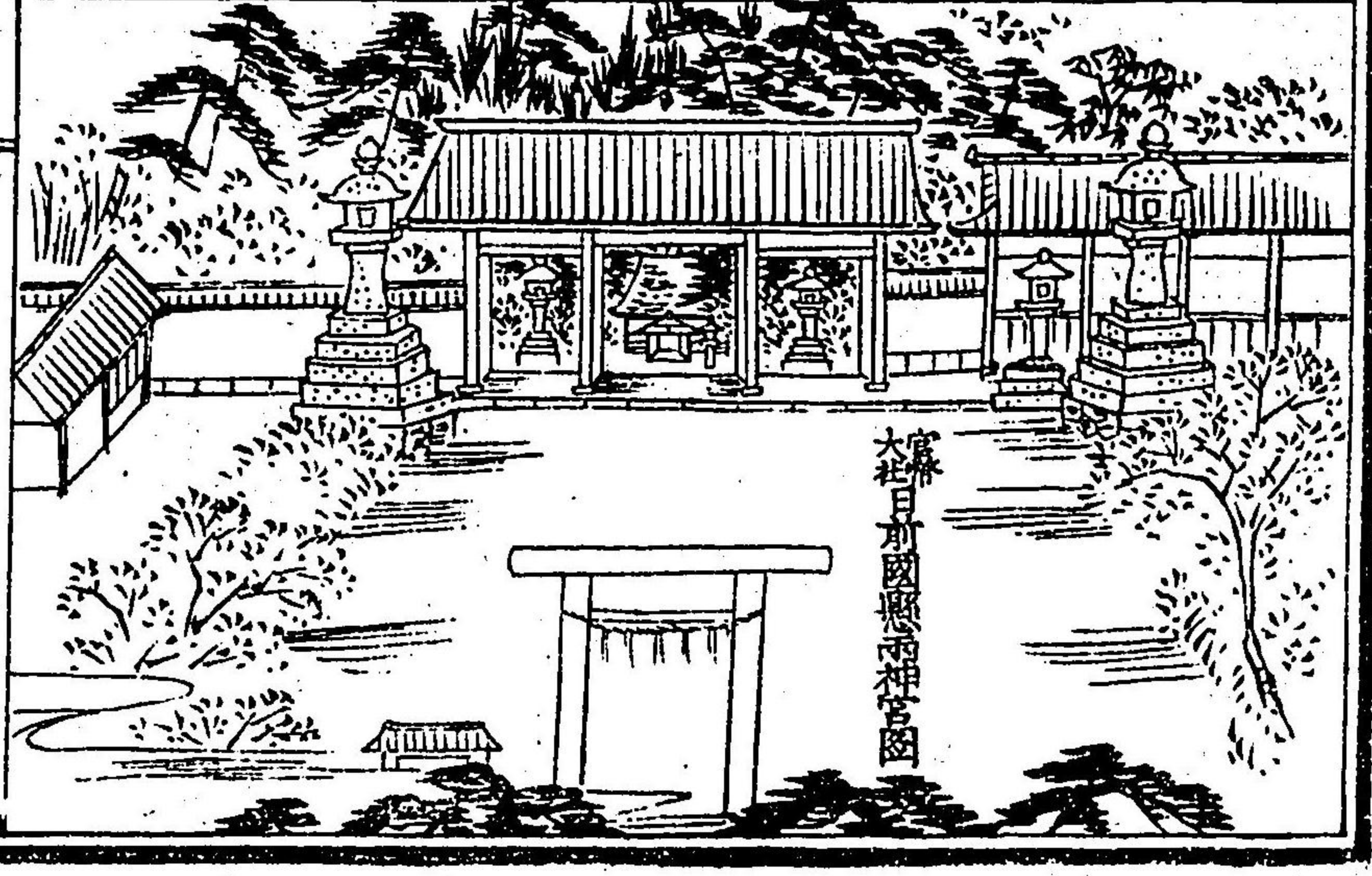
紀三井寺の圖



大尊

神社

宮村の秋月に在り共に官幣大社なり伊太祈曾神社ハ秋月の東南二里西山東村の伊太祈曾に在り國幣中社なり竈山神社ハ秋月の南方一里三田村の和田に在り官幣中社にして神武天皇の皇兄彦五瀨命を祀れ





官衙

り  
 郡役所ハ宮村の秋月  
 に在リ名草海部の二  
 郡を總括す故に名草  
 海部郡役所と稱す警  
 察署も亦此に在リ  
 黒江日方の二邑ハ和  
 歌山市の南殆ど二里  
 半に在りて内海に蒞  
 めり共に熊野街道の

黒江

電山神社圖



驛路なり

山口驛ハ雄の山の麓に在り大坂街道の一  
 驛なり

物産

物産ハ黒江の漆器を第一と一  
 日方の傘三葛の食塩之に次ぐ

海部郡

海部郡

境界

海部郡ハ東ハ名草郡に接し其他ハ概ネ海  
 濱に接す故に此名あり地勢ハ三部に分る  
 之を北中南と云ふ

北部

北部ハ葛城山に沿ひ海中に突出し東ハ名



友島

草郡と和泉とに接し其他の總て海に蒞めり而して友島海中に屹立し遙に淡路島と相對し以て茅渟海の南部を限る此島二島より成る其陸地に近きを地の島と云ひ遠きを沖の島と云ふ沖の島の燈臺及砲臺の在る所なり

加太浦

加太山の西方海中に突出せる岬二あり其の南なるを飽浦岬と云ひ北なるを城岬と云ふ加太浦ハ即其間にして四國來往の要津たり加太と地の島との間を加太海峡と

中部

稱し和歌山市大坂間の航海線路なり

雄港

中部ノ東北ハ和歌山市と名草郡とに接し西南ハ海に向ふ紀の川本部の西北を貫流し雄の港に至りて海に入る雄の港ハ縣内第一の要港なれども水淺くして大船を碇泊する能はず昔彦五瀬命雄誥して薨し給ひし所なりと云ふ故に此名あり

和歌浦

和歌の浦ハ和歌山市の南方一里に在り風光頗明媚にして日本三景に次げる勝地なり昔聖武天皇御臨幸の時殊に愛でさせ給



ひて名を明光と賜ひりしかば一に明光浦と云ふ其西方海中に突出せる一岬を雜賀崎と稱す

南部

南部の東北に藤白山脈を以て名草郡に接し南に長峯山脈を以て有田郡に隣り西北に海に面す而して藤



和歌浦の圖

加茂谷

蘆浦

長保寺

神社

白山脈と長峯山脈との間を加茂谷と稱し其の小南に梅樹を以て顯る塩津浦に藤白山脈の北麓に在りて和歌山市より汽船來往し荒崎に藤白山脈の西端にして其東南を大崎浦と云ひ亦碇泊の便あり大崎の東南濱中村に一刹あり長保寺と稱し舊藩主徳川家累代の墓所たり  
東照神社及南龍神社に和歌浦に在り八幡神社に加太の東木の本村に在り共に縣社にして淡島神社に加太浦に在り郷社なり



物産 物産ハ和歌の海苔牡蠣加太の和布其他魚類等なり

那賀郡

那賀郡

境界

那賀郡ハ名草郡の東に在りて北ハ葛城山を以て和泉に界東ハ伊都郡南ハ有田郡に隣り田野相通じ土地肥沃なり

河流

紀の川ハ郡の中央を貫流して地勢を南北の二部に分ち大に灌溉運輸の利を給す河南ハ山谷多くして平地少く河北ハ土地開け田野頗廣し野上川ハ郡の西南部を曲流

地勢

して紀の川に合す

山岳

龍門山ハ一名を勝神山と稱へ郡の中央に突起せる高山なり其形富士山に似たるを以て紀州富士の稱あり麻生津峠ハ其東に連り高野街道の衝に當る

根來寺

根來寺ハ岩出村の北西坂本に在る巨刹にして新義真言宗の本山たり昔ハ許多の寺領を有せしが羽柴秀吉と戦ひ一敗の後皆押領せられ堂塔も亦大半兵燹に罹りたれども今尚觀るべきものあり境内甚廣く殊



粉河寺

に櫻樹を栽し花時の風景頗佳絶なり其東方粉河町に粉河寺あり西國三十三番第三の札所に當り其名四方に高く伽藍亦宏大なり

官衙

郡役所及警察署ハ岩出村の清水に在り和歌山市を距ること凡



粉河町

四里にして其東方二里に在るを粉河町とす郡中第一の大邑にして一小市をなせり其東に名手村あり名手岩出ハ共に大和街道の驛路なり

物産

物産ハ川上木綿を最とし野上の棕櫚粉河の酢等之に次ぐ

伊都郡

伊都郡

境界

伊都郡ハ那賀郡の東有田郡の北に位し東ハ大和に接し北ハ和泉河内に界す

河流

紀の川ハ大和より流れ來りて本郡の中央



地勢

を貫き那賀郡に入る丹生川ハ源を郡の東南隅に發し中央に至りて紀の川に合す本郡の南部ハ山岳相重り平地少クと雖ども北部ハ紀の川に沿ひ地形平クにして地味肥へたり

高野山

高野山ハ南部の中央に聳ゆる高山にして一巨刹あり金剛峯寺と云ふ弘仁年間僧空海の開基に係り古義真言宗の本山たり佛殿壯嚴僧坊輪奐信徒の参詣絶ゆることな

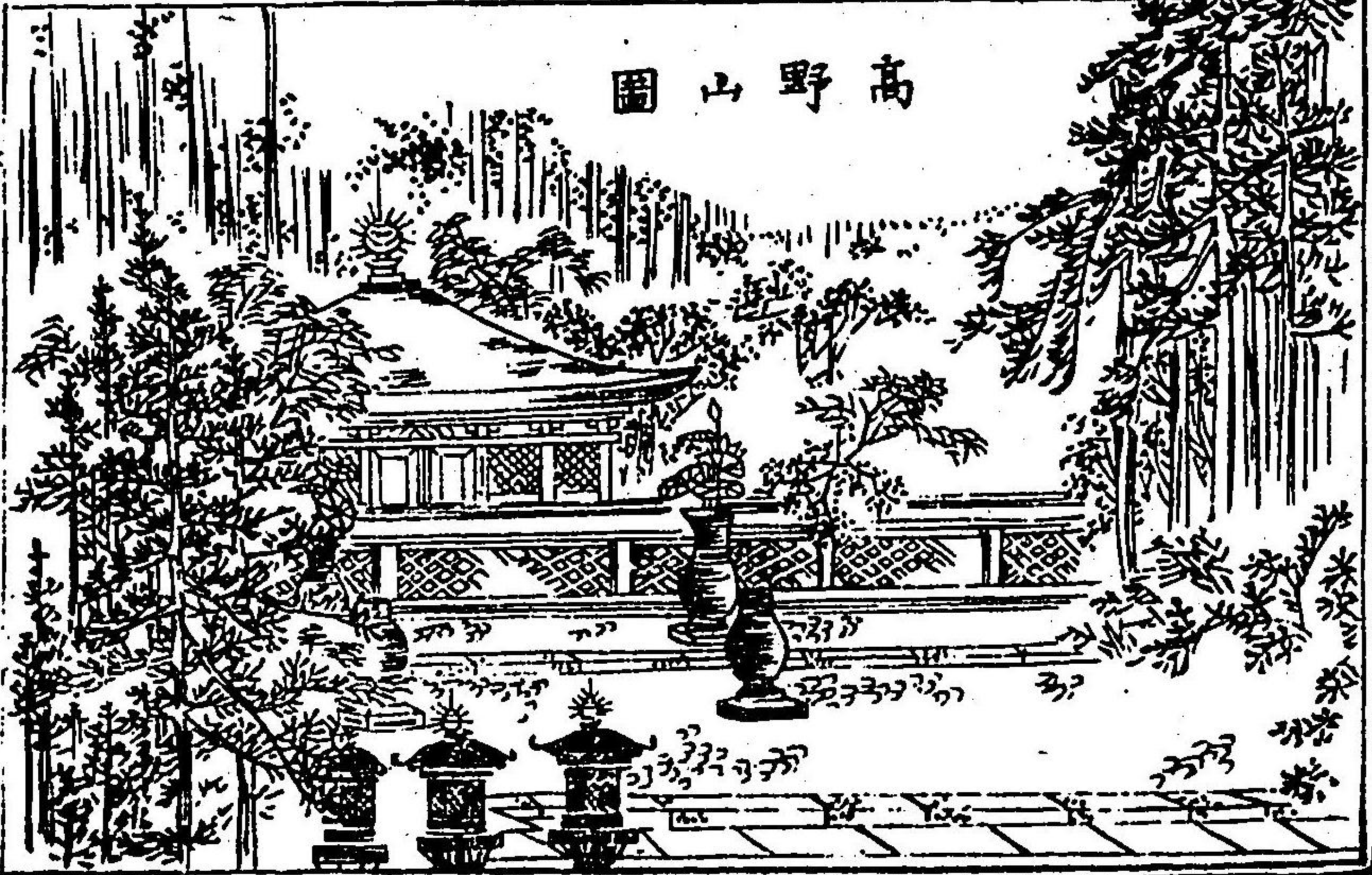
山岳

紀伊見崎ハ河内より高野山に通ずる街道にして待乳峠ハ大和の國境に在り亦大和街道の一峻路なり妹山脊山ハ共に那賀郡の境に在り

神社

丹生津比賣神社ハ高野山の西北天野村に在る舊祠にして今ハ

高野山圖





縣社なり

官衙

郡役所警察署ハ共に橋本町に在り和歌山  
市を距ること殆ど十一里半妙寺ハ其西方  
二里半に在りて共に大和街道の驛路に當  
る皆紀の川の北に在り其南にある大村を  
九度山と云ふ

物産

物産ハ高野山の木材氷豆腐霜草烟草等  
にして其他木綿清酒も亦著名なり

有田郡

有田郡

境界

有田郡ハ北ハ伊都那賀名草海部の四郡に

山岳

接し東ハ大和に界し南ハ日高郡に連り西  
ハ海に面す  
北方四郡に界する連山を長峯と云ひ其脈  
中那賀郡の境に在る高峯を生石峯と云  
ふ蕪坂其西に在り日高郡の境に在る連山  
を白馬と云ひ白馬城ハ森護摩壇の峻山東  
西に連互す鹿ガ瀬峠ハ此西部に在りて蕪  
坂と共に熊野街道の阪路なり

河流

有田川ハ水源を伊都郡に發し郡の東北隅  
に流れ西に向ひて全郡を貫通し北湊に至



北湊

りて海に注ぐ大に灌漑に便あり

北湊の西南海中に突出する所を宮崎と云

ひ其南方の入江を廣灣と云ふ鷹島川藻島

其中間に在り

次瀑

次の瀑ハ延坂の山中に在り直下三十七丈

二餘り巨岩高く聳え眺望最佳なり蓋其壯

觀那智の瀑に次ぐを以て此名あり

神社

須佐神社ハ湯淺の西北保田村の千田に在

り縣社の一なり

官衙

郡役所警察署ハ共に湯淺村に在り郡中第

湯淺

一の名邑にして市坊

繁華なり此地和歌山

市を距ること殆ど十

一里熊野街道の一驛

なり其南廣灣に臨む

廣村

所を廣村と云ふ湯淺

に次ぐ大村なり

物産

物産ハ蜜柑を以て第

一とす有田川の兩岸

處として栽培せざる

蜜柑の圖





はなく毎歳北湊より輸出する數量莫大なり天正年間肥後より移植せし所なりと云ふ其他湯淺の醤油箕島の蠟燭も亦有名なり

日高郡

日高郡

境界

山岳

日高郡は有田郡の南に位し東南は西牟婁郡に連り東は大和に界し西は海に面す郡中峯巒伏起し峻嶺甚多し其有田郡に接するものを白馬の山脈と云ひ西牟婁郡に接するものを虎が峯笠塔の峯と云ひ大和

の境に接するものを鉾尖嶽和田の嶺と云ひ郡の中央に在るものを清冷矢筈の峯と云ふ皆高峯なり

河流

地勢

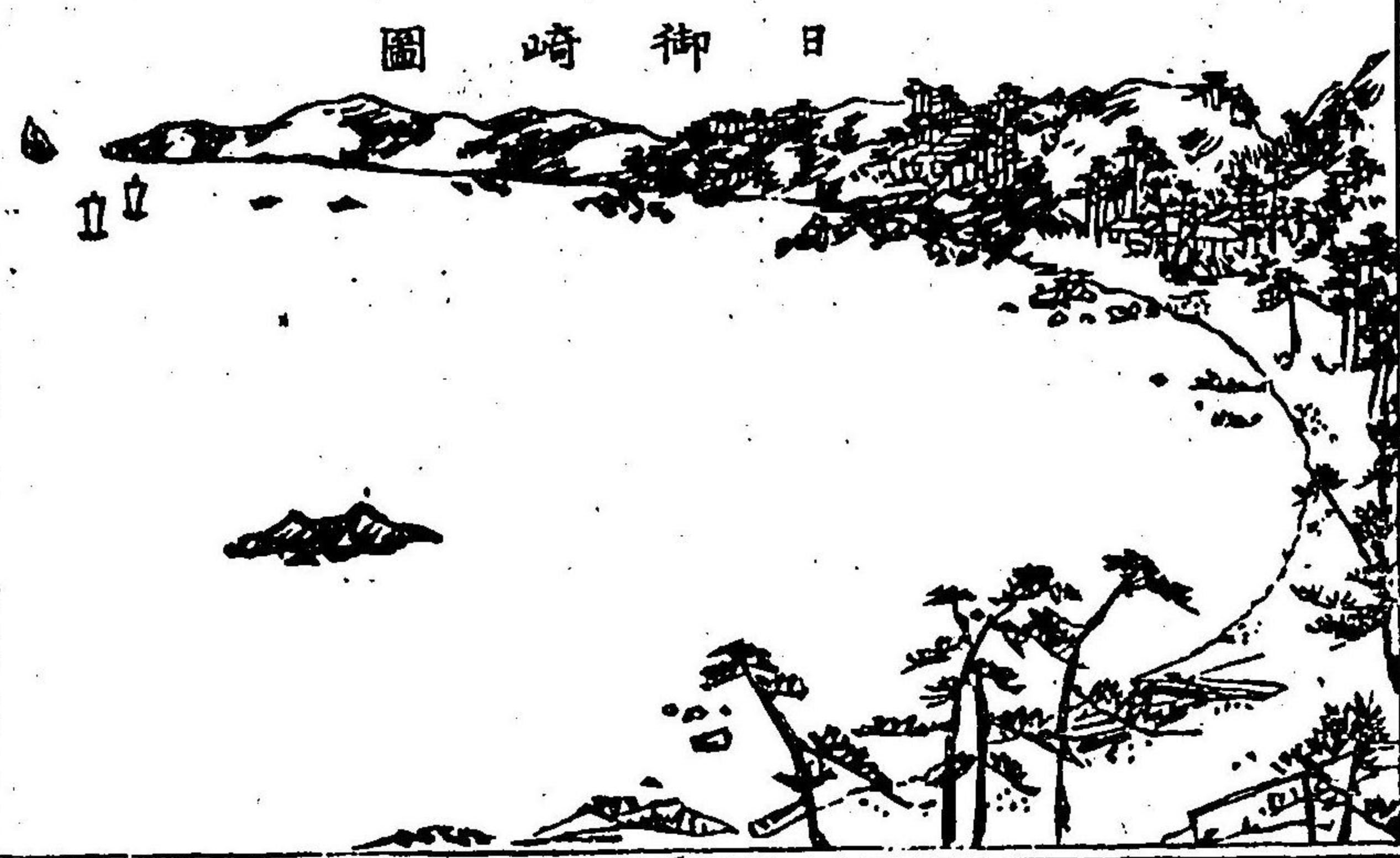
日高川の源を郡の東隅龍神村の山中に發し西方に屈曲して郡中を貫き以て海に朝す激湍頗多く河流四十餘里に亙ると雖ども舟楫を通ずるは僅に末流七里に過ぎず本郡の地勢は四大部に分る日高切目南部由良の四溪是なり就中地形開濶にして田圃稍廣きは日高の一溪のことす



日御崎

白馬の山脈ハ西方に  
走りて二岬に分る其  
北ふるを白崎と云ひ  
南なるを日御崎と  
云ふ日の御崎ハ海中  
に突出すること三十  
餘町近時此に燈臺を  
設く此二岬の間を由  
良の港と稱し南海の  
良港なり

由良港



龍神温泉

古刹

官衙御坊村

龍神村ハ山間の地なれども著名の温泉あ  
るを以て其名四方に顯れ浴客常に多し  
由良の興國寺鐘巻の道成寺ハ共に郡中の  
古刹なり  
郡役所及警察署ハ御坊村に在り郡中第一  
の大邑にして日の御崎より海濱凡三里の  
東方に在り和歌山市を距ること大約十七  
里是より海に沿ひて東方四里に印南浦あ  
り又其東南三里に南部あり共に熊野街道  
の驛路なり



物産 物産の主なるものハ山路の木炭木材其他  
海産物なり

西牟婁郡 西牟婁郡

境界 西牟婁郡ハ西北ハ日高郡及大和に接シ東

ハ東牟婁郡に連リ西南ハ大海に面せり

山岳 郡中到る處山又山にして平地甚乏一殊に

東牟婁郡に接する大塔オホトウの峯ハ縣内第一の

高峯あり

河流 安宅川アサギハ郡中第一の河流にして其源を大

和の國境に發し西南に向て流れ日置浦ヒキに

至りて海に朝す因て其の海口を日置川と云ふ富田川ハ安宅川に次ぎ其の西北に在り此二川孰れも急流多くして水運の便甚少

汐岬 汐シホの岬シホサキハ海中に突出すること殆ど二里に

して實に南海の一大岬なり之を本縣の最南端とす潮流急にして波濤常に荒く航海險惡の所なり岬頭に燈臺を安し以て航客の便に供す

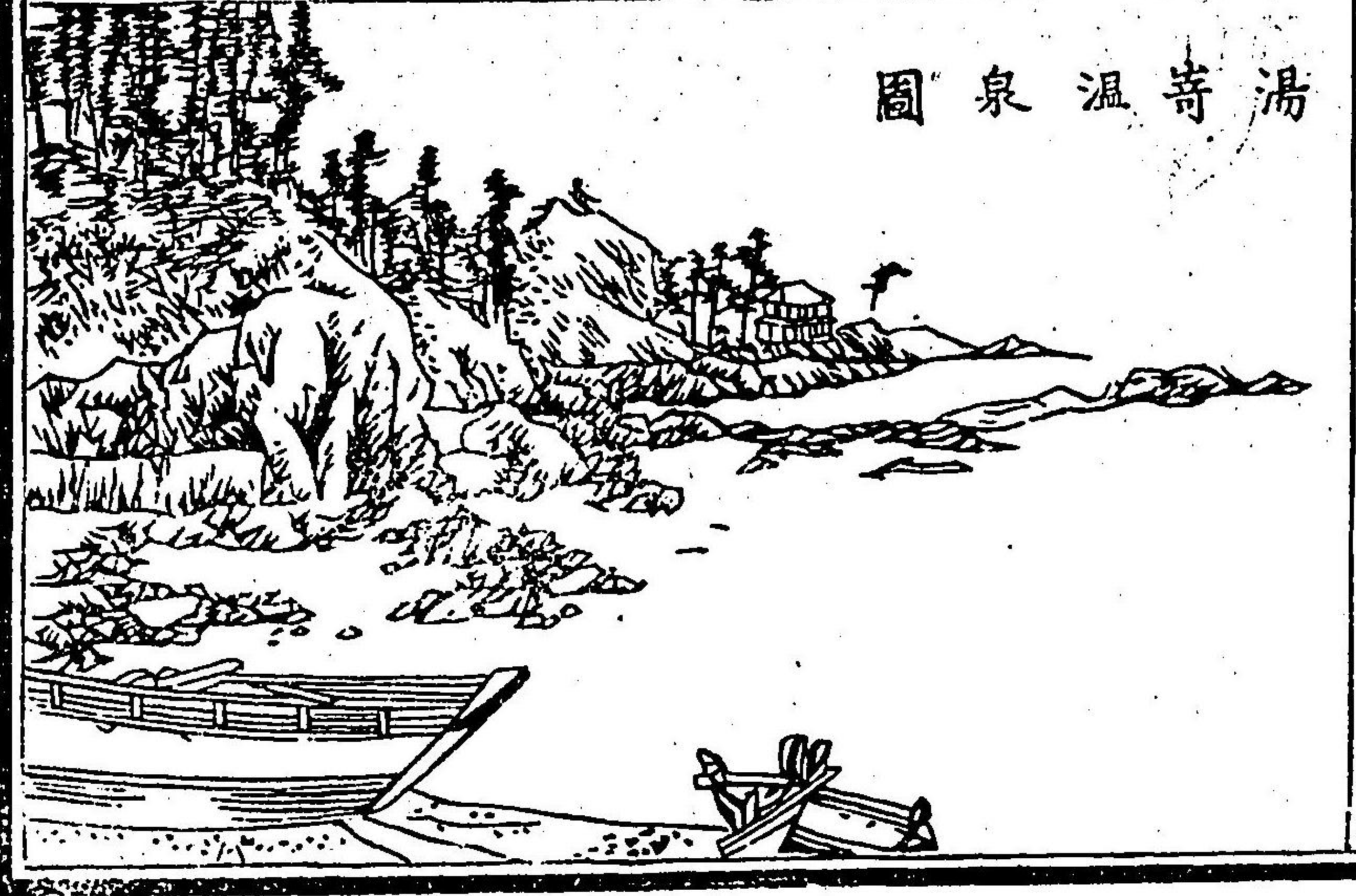
湯崎 湯崎ハ温泉の在る所にして瀬戸岬セトノサキの南方



和歌山縣内北書  
湯寄温泉圖  
三井氏藏

瀬戸鉛山村に在り泉  
質善良風景亦佳ある  
を以て浴客常に多し  
田邊より東牟婁郡に  
通ずる官道二條あり  
道を東北の山間に取  
るものを中邊地と云  
ひ道を東南の海邊に  
取るものを大邊地と  
云ふ共に東牟婁郡天

湯寄温泉圖



中邊地  
大邊地

神社  
官衙  
田邊町

満に到れば則ち相會す  
鬮織神社ハ田邊町に在り縣社なり  
郡役所警察署裁判所支廳等ハ共に田邊町  
に在り此地和歌山市を距ること大約二十  
七里田邊灣に臨む舊田邊藩の城下にして  
城趾今尚海口に存せり市場十三戸口稠密  
にして商業盛に行はれ縣内第二の都邑た  
るに耻ず  
日置浦周參見二色の港串本等ハ共に本郡  
の良港なり

和歌山縣内北書  
三井氏藏



物産

物産ハ田邊の葛粉富田の砥石其他魚類海草等なり

東牟婁郡

東牟婁郡

境界

東牟婁郡ハ西牟婁郡の東に在り北ハ大和に接し東北ハ南牟婁に界一東南ハ大洋に蒞む

山岳

本郡ハ古ハ奥熊野之稱セ一所にして郡中山岳を以て充たされ山水の奇景頗多一今峻嶺の最著一きものを擧ぐれば大和の境に影無越野頭山あり西牟婁の境に大塔の

峯あり其他那智大雲取等皆郡内屈指の高山なり

河流

熊野川ハ源を大和に發一九重村に至りて大和より來れる北山川に會一東南に流れ新宮に至りて熊野灘に注ぐ故に其河口を新宮川と云ふ舟楫の通ざる所十數里に互り運輸の便甚多一其他古坐太田那智の三川ありと雖ども皆細流なり

九里町

九里八町ハ本宮より熊野川に泛び新宮に至る間の通稱にして此間水勢急激奇岩兩



泥八町

崖に峙ち大小の瀑布所々に懸り眺望頗奇  
絶なり泥八町も亦同流の一勝區にして九  
重村の東北に在り兩崖壁の如く其風景九  
里八町に優ると云ふ

那智瀑

那智の瀑ハ那智山中に在り直下八十餘丈  
水勢滔々として積雪の崩るゝが如く實に  
本邦無二の壯觀あり其山中に一堂あり觀  
音を安置を西國三十三番第一の札所なる  
を以て其名特に世に顯る

觀音堂

神社

熊野早玉神社ハ新宮に熊野夫須美神社ハ

那智瀑布圖



那智山中に在り共に縣社なり熊野坐神社  
ハ本宮に在り國幣中社なり

新宮  
官衙

新宮町ハ郡の東南隅に位し舊新宮藩の城  
下にして其繁華田邊町に伯仲し郡役所警  
察署の所在地たり此地より田邊町に通ず



る官道中邊地へ二十七里にして大邊地へ二十里なり

湯峯温泉

湯の峯へ本宮の南殆ど一里に在る一小村なれども著名の温泉場なるを以て浴客常に群をなす

大島

大島へ郡の西南汐の岬の東に在り縣内第一の大島にして周回四里に及びり其の大島浦へ串本と相對し南海の一良港なるを以て諸國の船舶此に繫泊して風候を待つもの多く又燈臺の設あり

物産

物産へ木炭木材石炭等にして三輪崎太地古坐等へ捕鯨の業最盛なり

總括

市町村

本縣へ一市四町二百十四箇村より成り人

人口

口大凡六十四萬七千餘なり

河流

川流の最大なるものへ紀の川にして大和國吉野郡の山中に發し伊都那賀名草海部の四郡を貫流して海に入る其長さ二十三里に達し舟楫の便最大なり熊野川之に亞

總括



く日高川の川流最長しと雖ども激湍多くして水運の便に乏し

地勢

本縣の地勢の紀の川の兩岸稍平坦にして其他の概ね山地なり殊に東西牟婁の如き

山岳

の群山高く聳え行路險峻を極む而して其郡境に屹立せる大塔峯は縣内第一の高峯たり

都邑

和歌山市は縣内第一の都邑にして西牟婁郡の田邊町東牟婁郡の新宮之に亞く其他名草郡の宮村<sup>秋</sup>那賀郡の岩出村<sup>清</sup>伊都郡

の橋本町有田郡の湯淺村日高郡の御坊村等ハ皆郡役所の在る所なり

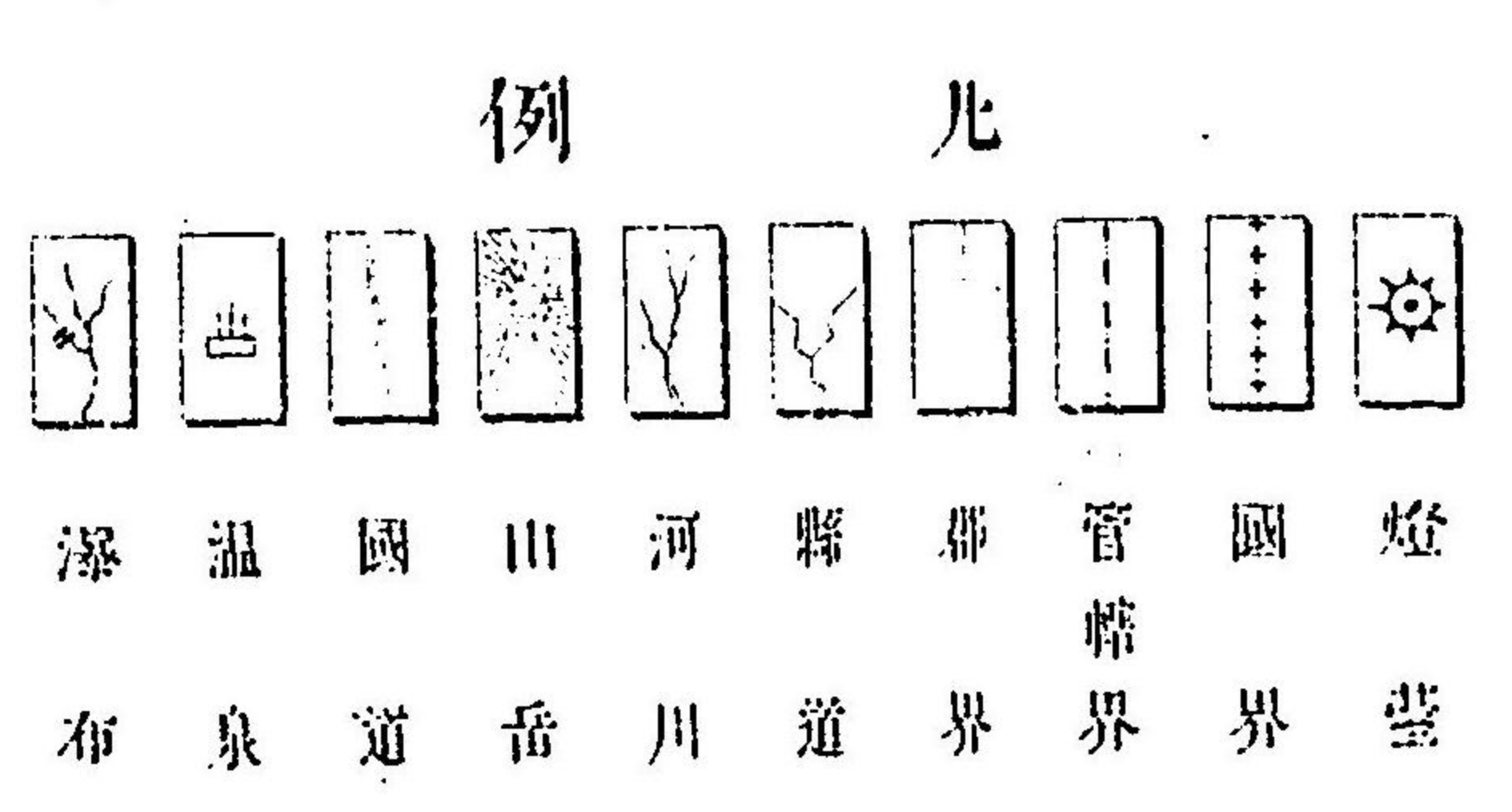
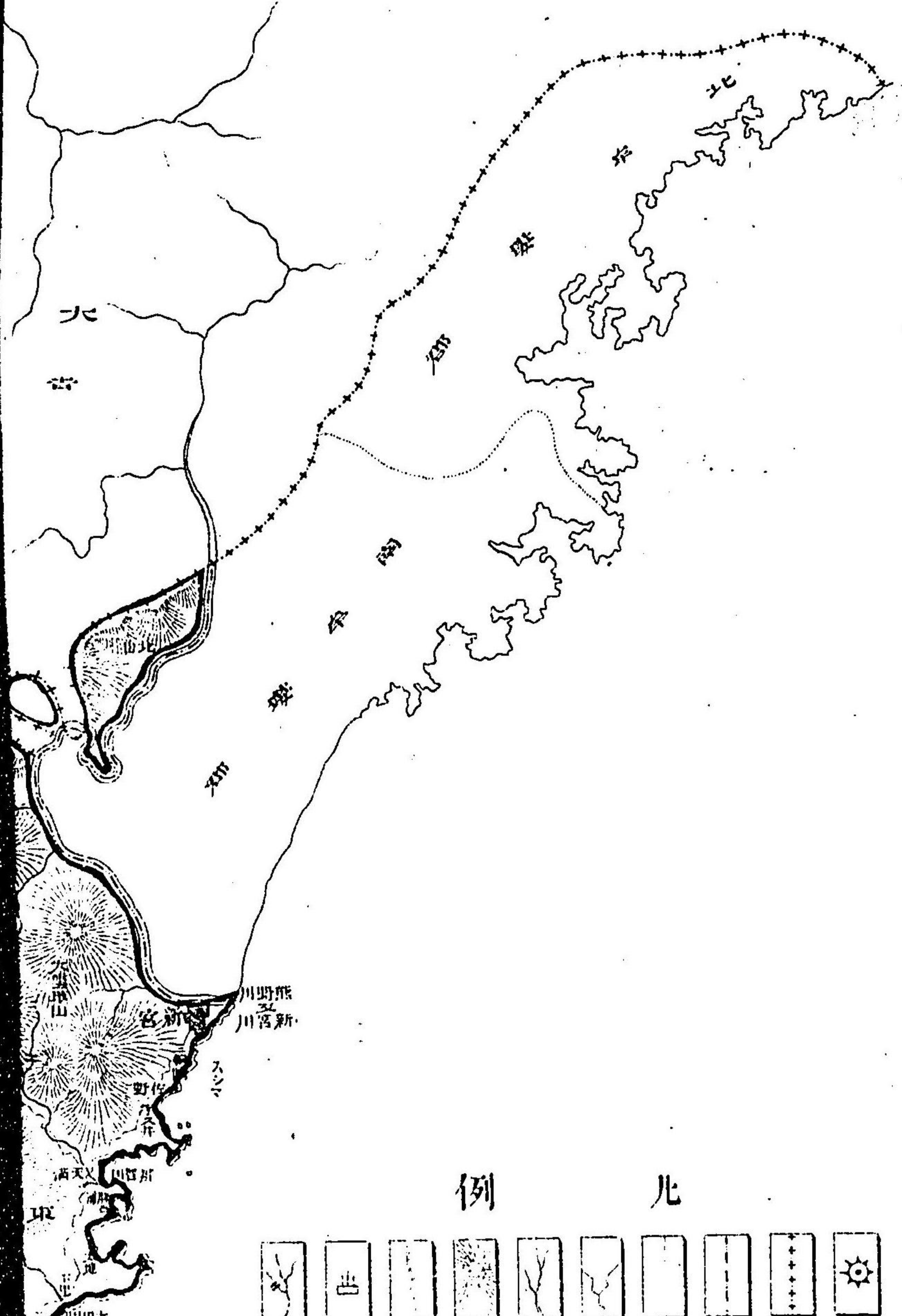
物産

物産の最主要なるものハ和歌山市の綿アラネル熊野の木材有田の蜜柑黒江の漆器等なり但海部有田日高及東西牟婁の五郡ハ海濱に接するを以て海産物甚多く東牟婁の如きは捕鯨の業特に盛なり

和歌山縣管内地誌終



和歌山縣管內地圖



和歌山縣			
郡名	地名	里程	郡名
名草郡	黒江	二里廿四町五十間	伊都郡
日方	二里卅四町三十間		高野山
藤白	三里十五町二十間		湯島
伊太祈曾	二里二十三町十間		湯島
山口	四里十二町四十間		湯島
海部郡	加太	三里廿三町四十間	湯島
和歌	一里二十町十七間		湯島
藍津	四里二十三町		湯島
同	濟中	五里十七町四十間	湯島
那賀郡	野上	四里卅二町四十間	湯島
同	岩出	四里二町十二間	湯島
同	粉河	六里十七町三十間	湯島
同	名手	七里八町五十間	湯島
同	麻生	七里卅五町四十間	湯島
伊都郡	妙寺	九里二十町五十間	湯島
同	橋本	十一里三十三町餘	湯島

和歌山縣志

明治廿八年三月六日印刷

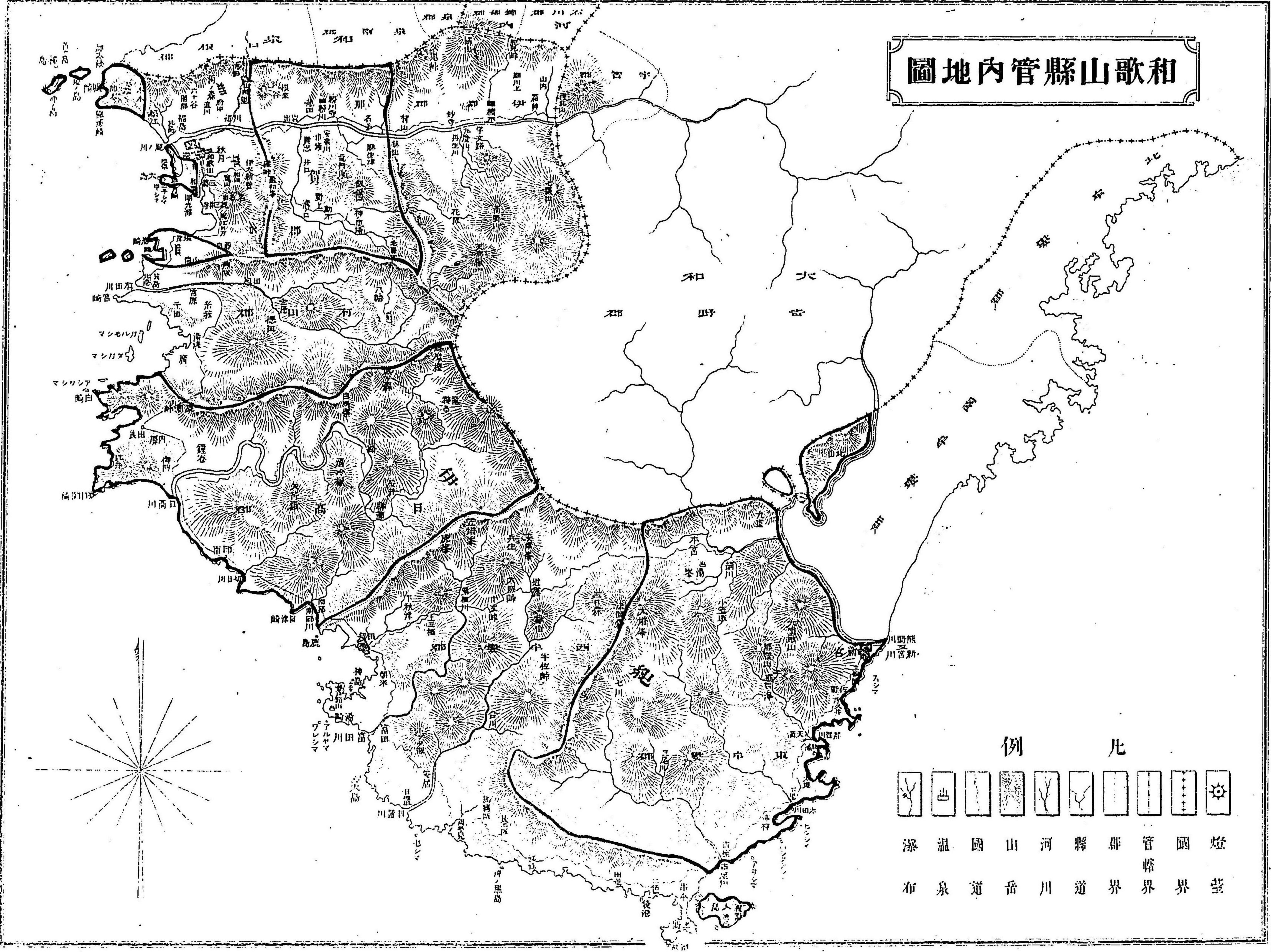
發行所 和歌山縣立圖書館

五

和歌山縣管內地圖



# 和歌山縣管内地圖



例 凡

温泉	山	河	道	郡界	國界	燈
布	泉	道	番	川	道	界

和歌山縣管内地圖  
 總發行所 東京  
 大塚  
 丸  
 天  
 丸  
 天  
 丸  
 天



明治廿八年三月六日印刷 明治廿八年九月十九日校正再版印刷  
同 廿八年三月十日發行 全 年全月廿六日發行

版權所有



編述者

五特堂編輯所

和歌山縣和歌山市本町二丁目拾九番地

印刷兼  
發行者

平井文助

和歌山縣和歌山市本町二丁目二十番地

# 和歌山縣郷土史談 全冊 近刻

蘭村宗太郎先生編  
新撰 普通 毛筆畫帖全八冊

定一二各七錢五厘  
三四各八錢  
五六各八錢五厘  
七八各八錢五厘

吉田直之助先生編  
高等 小學 筆算教科書

定一三四各拾錢  
價二拾貳錢

全 彩色入

近 刻

全 五 六 七 八

近 刻



